

出水期に備えて堤防を点検しました

山口河川国道事務所職員と防災エキスパートが共同して、佐波川で国が管理する堤防や樋門等の施設の点検を行いました。

点検では116箇所の変状を確認しましたが、出水期までに応急的な措置が必要な箇所はありませんでした。



堤防に開けられたモグラなどの小動物による穴は、継続的に観察していきます。



堤防上の舗装が沈んでいる場合、その沈み込みが年々拡大していくのかを確認するため、スケールを当てて沈み込みの量を測定しておきます。



**点検～補修で施設管理を行い
流域の安全・安心を確保します**



両岸で52kmを徒歩で点検しました

ストック効果事例の紹介 河川環境整備で市民の憩いの空間を創出

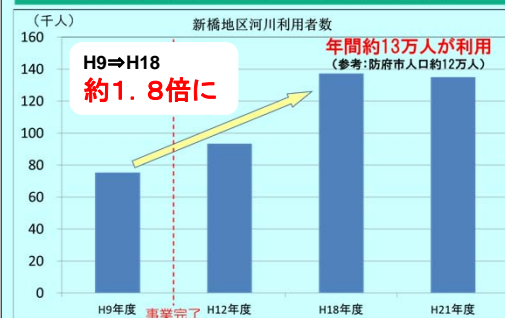
佐波川新橋地区では、平成初期に親水性やホタルの生息環境に配慮した護岸整備を実施しました。整備後は、川辺の散策や休憩、水遊びなどの憩いの空間として日常的に市民に親しまれています。



佐波川新橋地区において、河川改修事業にあわせ、親水性の高い護岸を整備しました (H1～H10年度に整備)

水辺に近づきにくい川 **→→→** 水辺に近づきやすい川

佐波川新橋地区周辺の河川利用者数



さらに・・・

同地区では、平成27年度より、防府市によるまちづくりと連携した新たな環境整備事業を進めています



完成後は、これまで以上に
利用者の増加が期待されます



～河川環境整備によるストック効果～
まちづくりと連携した河川環境整備により、新たな市民の憩いの空間が生まれるほか、河川空間と都市空間の融合により市内に多数存在する歴史・文化拠点との周遊性の向上やイベント等の開催による賑わいの創出に繋がり、活力のある魅力的なまちづくりが期待されます。

～RIVARO[リバロ]とは～

RIVer And ROad(川と道路)の頭文字。
山口河川国道事務所の川づくり、道づくりをイメージしてネーミングしました。皆さまに親しまれる地域づくりを目指して日々頑張りますので、よろしくお願ひします。山口河川国道事務所のホームページにも掲載しています。

お問い合わせ: 山口河川国道事務所 計画課
0835-22-1819

山口河川国道事務所ホームページ:
<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>

